



相馬 潤 議長



た。これは「うさぎのダンス」の『おんぴょん』と、「證城寺のためきばやし」の『ミュージック』です。お腹のところに付いている音符のマークを押すと、メロディーが流れるというものです。遊ぶうちに音楽が自然と耳に入り、好きになつていくと思います。

から音楽を流すことについて、現在は、豊田地域、日野地区、高野辰之さんが作詞した「故郷」をはじめ、中山晋平さんが作曲した「てるてる坊主」などを月ごとに流しています。いつも流すことは難しいと思いますが、正午と夕方、全市的に曲を流すことを考えてみたいと思います。次に、1歳のお誕生日のプレゼントですが、小さい時から音楽に触れることは、心豊かな成長に大切ですので、その一つとして音楽が自然と耳に入る『おんぴょん』や『ミュージック』のような『おきあがりこぼし』は、大変素敵なものだと思いますので、プレゼントできれば良いと思います。

《質問》 日常的に音楽がいつも身近に感じられるための提案をしたいと思っています。1つめは、市街地に設置されているスピーカーから、中野市出身の音楽家が作曲した曲を流すことです。いつも音楽を耳にすることで、市民も音楽に愛着が持てると思います。また、子どもたちに音楽に親しんでもらうために、1才のお誕生日に「おきあがりこぼし」をプレゼントするのはどうでしょうか。見本を作ってみましょう。これは「うさぎのダンス」

《答弁》 池田市長 防災行政無線のスピーカーから音楽を流すことについて、現在は、豊田地域、日野地区、高野辰之さんが作詞した「故郷」をはじめ、中山晋平さんが作曲した「てるてる坊主」などを月ごとに流しています。いつも流すことは難しいと思いますが、正午と夕方、全市的に曲を流すことを考えてみたいと思います。次に、1歳のお誕生日のプレゼントですが、小さい時から音楽に触れることは、心豊かな成長に大切ですので、その一つとして音楽が自然と耳に入る『おんぴょん』や『ミュージック』のような『おきあがりこぼし』は、大変素敵なものだと思いますので、プレゼントできれば良いと思います。

中野市がもっと音楽にあふれ、音楽に親しめる街に



関 美颯 議員



山田優汰 議員



《質問》 大通りから少し入った脇道、例えば、商工会議所の通りや中央通りは、通学路にもなっていますが、僕たちも車道と歩道の区別をしながら歩くのは大変です。目の不自由な人のための点字ブロックはもちろんないので、とても不安だと思います。そこで、歩道のない通りで、市民の利用が多いこの2つに代表されるような道路には、歩道をつけて、点字ブロックを設置してほしいです。もし、歩道が作れないのであれば、せめて、白線を凸凹にして、車道と歩道の区別ができるような工夫をしたらどうでしょうか。それならば、市街地だけではなく、通学路や狭い道でも、できることだと思います。

《答弁》 池田市長 歩道の整備について、市では、誰もが利用・通行しやすい道路にするため、平成13年に「やさしい歩道づくり事業計画」を作り、整備を進めています。この計画は、歩道がない道路には歩道を設置し、既に歩道があっても、段差がある所は、段差の少ない平らな歩道に作り替えるものですが、すべての通学路や狭い道に歩道を作るには、たくさんのお金が掛かります。そこで、山田さんが言うように、車道と歩道を明確に区別し、歩行者が安心して歩けるよう、道路に白線を引くのも有効な方法です。これからも、皆さんが安全で安心に道路を利用できるように見回りをし、点検整備を行っていきます。

歩道や点字ブロックの整備を行い、安全・安心に暮らせる中野市に



中野小6年2組の皆さん



中山万葉 議長



あの1年生が、あのお年寄りが、  
いつでも安心して歩ける歩道の除雪を

《質問》 低学年の頃、通学路に除雪された雪が固められていて、その雪解け水が朝に凍り、何度も転んだことを覚えていますが。また、ちよつとした雪も、身長100cmの1年生にとっては、とてもたくさんで怖い路面に感じるものです。子どもだけではなく、車を運転できないお年寄りも、冬でも歩道を使わなくてはなりません。お年寄りは、視野も狭く、動きもゆつくりです。転んだら僕たちよりも大変なケガになることは、簡単に想像できません。ぜひ「中野市民が」ではなく、近所、身内の子どもやお年寄りの登校や歩行を思い浮かべ「あの1年生のために」「あのおばあちゃんのために」と考えていただけたらと思います。

《答弁》 池田市長

市では、皆さんが安心して登下校できるように、除雪する路線や基準を定めた「除雪計画」を作っています。歩道は、主に小型の除雪機を使って積もった雪を飛ばし、車道は、大型の除雪機を使って車が通れるように道路の雪をかきわけながら除雪しています。溜まった雪を運び出す排雪作業は、大型トラックなどを使用し、道路を通行止めにしなると出来ないため、固められた雪や路面の状況を見ながら行っています。これからも、除雪の体制を強化し、低学年の皆さんやお年寄りを思いやるとして、歩道を利用する方が安心して歩けるようにできる限り対応したいと思っています。



にしかわゆうと 議員



《質問》 1巻から借りたいときにその巻が借りられていて、毎日これられないのに残念なことがあります。もし人気が本が2冊用意されていたら、図書館へ足を運ぶ機会も増えると思います。また、他の図書館と連携をして、たくさん本を私たちに貸し出すことはできませんか。例えば、北信地区の図書館がネットで連携して、蔵書を確認できるようにつながる。本の閲覧は、各図書館の端末で、市民が自由に見て、貸し出し願いを出すことができます。こんなことが実現できれば、よりたくさんの人たちに本の魅力を広めることができ、蔵書の有効利用が可能になると思います。最後に、蔵書を増やすこと、できれば子ども向けの蔵書の充実をお願いします。

《答弁》 小嶋教育長  
貸し出し希望の多い図書については、予約してお待ちいただく場合もありますが、図書の購入については、その年の代表作品や、さまざまな利用者の志向、傾向を見ながら、各分野の中から選定し、購入していきますのでご理解をお願いします。他の図書館との連携については、長野県内の図書館の間で、図書の相互貸し借りが行えますので、必要な時はこのサービスをご利用いただきたいと思います。現在、蔵書の割合では、子ども向けの児童書が全体の22・1%で、毎年たくさん児童書を購入しています。これからも図書館では、皆さんから図書のリクエストをいただくことなどによって、さらに蔵書の充実をしていきたいと思っています。



もちづきゆうた 議員

